



レインボーネット Rainbow Net

れいんぼーTopics



各事業所でマスク作成!!

機関紙30号の発行という節目を迎えることができました。しかし、新年度に入り多くの関係者の皆さまからイベント中止の案内をいただいています。レインボーネットでも、この時期は宮古圏域障がい者スポーツ交流会を皮切りに、障がい福祉の理解啓発などさまざまな企画が始まりますが中止と致しました。全国的に広がりを見せる新型コロナウイルスの感染拡大防止から中止の判断をせざるをえない状況が続いています。本当に残念ですが仕方ありませんね。表紙の写真は、各事業所で作成しているマスクづくりの様子をあげさせていただきました。生活という日々の営みが制限されるなか、今できることを確認しながら、この状況をみんなで乗り切っていきましょう。

※一般の方々へのマスクの販売等はしておりませんので、お問い合わせはご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

目次 CONTENTS

●れいんぼーTopics	1	●Report!「福祉の現場から」	6~7
●新年度にあたって	2	●こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です!	8
●令和元年度事業報告・決算、受託事業pick up!、 新任職員紹介	3~5	●令和2年度事業計画・予算	9
		●なんでもKEIJIBAN、編集後記	10

新年度にあたって 宮古圏域障がい者福祉推進ネット

宮古圏域障がい者福祉推進ネット
事務局長 盛合 一男



初夏のさわやかな風が木々の間を吹き抜けていく、そんな季節になりました。

例年であれば、「新たな年度が始まり、期待に胸をふくらませて…」といきたいところですが、新型コロナウイルスの感染拡大はとどまることを知らず、世界的にも、国内においても依然として厳しい状況のまま新年度を迎えることになりました。国の緊急事態宣言が全国に拡大されたことを受け、レインボーネットにおきましても、やむなくイベントや会議、研修会等を中止や延期にするなど、自粛せざるを得ない事態が続いております。5月に入り岩手県など一部の地域において緊急事態宣言が解除されましたが、感染リスクがなくなつたわけではないことか



ら、行政とも協議しながら事業を実施してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

さて、当事業所における今年度の職員体制ですが、職員の退職等がありました。新規採用と関係団体のご理解とご協力により、何とか前年度並みの職員数を確保できたところであります。

昨年度の事務事業につきまして、感染拡大防止の観点から3月に予定されておりました理事会及び自立支援協議会や専門部会を参集形式で開催することができなかつたり、地域活動支援センター事業の一部を自粛したりしましたが、年間を通して概ね順調に実施することができたものと考えております。

また、運営状況につきましては、報酬改定等により前年度に引き続き相談支援事業収益が増額となりました。新規契約者の増加やモニタリング回数が増などにより、相談支援専門員への負担が昨年度以上に多くなつてきておりますことから、新たな専門職員の確保等が最重要課題となっております。

今年度の事業計画につきましては、重点項目として、「①地域の相談支援体制の連携・強化」、「②障がい者の権利擁護の推進及び普及啓発」、「③障がい者の地域移行の推進と地域包括ケアシステムの構築」、「④市町村のニーズに対応した取り組みの推進」、「⑤地域生活支援拠点整備の推進」の5項目を掲げ、各種事業を実施しようとしております。

特に、項目⑤につきましては、第5期障がい福祉計画期間中に圏域として地域生活支援拠点を1ヶ所整備することとしており、今年度が最終年度に当たることから、計画の実現のため自立支援協議会と連携して協議を重ねてまいります。

令和になって1年が経過し、昨年とはつって変わって、世の中は感染症に対する不安や行事等の中止など暗いニュースが多くなつております。明るい話はなかなかできませんが、一日でも早い感染の収束を願いつつ、私たちが今できることをしっかりやっていきたいと考えておりますので、今後とも皆様方の一層のご指導とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和元年度 事業報告・決算

Ⅰ 法人運営の状況

■ 会員総数 146人 (団体)

○ 正会員 98人 (団体)

(個人会員 70人・団体会員 28団体)

○ 賛助会員 48人 (団体)

(個人会員 40人・団体会員 8団体)

■ 総会・理事会・運営委員会の開催及び会計監査の実施

○ 総会 (1回開催)

○ 理事会 (3回開催)

○ 運営委員会 (2回開催)

○ 会計監査 (4回開催)

■ 広報・啓発活動の実施

○ 機関紙「Rainbow Net」の発行 (2回/第28号・第29号)

○ ホームページによる情報提供

○ 出前授業の実施 (理解促進及び啓発事業)
内容: 色々な障がいを理解しよう

・ 宮古市立花輪中学校 (24名)

・ 宮古市立欽ケ崎小学校 (30名)

・ 山田町立山田南小学校 (30名)

・ 岩手県立宮古高等学校 (22名)

・ イーストピアみやこ (52名)

・ 宮古市立花輪小学校 (33名)

・ 宮古市立藤原小学校 (12名)

・ 宮古市立宮古小学校 (34名)

・ 宮古市立重茂小学校 (17名)

Ⅱ 受託事業の実施状況

■ 宮古地区地域生活支援事業等の実施 (宮古圏域4市町村からの受託事業)

○ 相談支援事業及び基幹相談支援センター事業
・ 年間の相談支援延べ件数 13,026件

(※前年度 12,981件)

・ 宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議の開催 (3回開催)

・ 基幹相談支援センター連絡会の開催 (8月1日紫波町役場)

○ 住宅入居等支援事業
・ 相談支援実人員 154人
(相談延べ件数 154件)

・ 不動産業者との意見・情報交換会を実施 (1回開催)

○ 障がい者虐待防止センター事業
・ 障がい者虐待防止研修会の実施

5月21日 救護施設松山荘 参加者15名

11月15日 就労継続支援A型事業所「鳥もと」
参加者9名

2月13日 宮古地区合同庁舎 参加者8名

○ 地域活動支援センターI型事業
・ 年間の延べ利用者数 2,401人
(※前年度 2,647人)

・ 活動開催回数 305回 (※前年度 338回)

・ 「地活だより」を毎月150部発行

■ 宮古圏域障がい者自立支援協議会の運営 (宮古圏域4市町村からの受託事業)

○ 宮古圏域障がい者自立支援協議会 (親会) (2回開催)

○ 専門部会の開催

・ 実務担当者会議 (8回開催)

・ 生活支援部会 (5回開催)

・ 権利擁護部会 (5回開催)

・ 精神保健部会 (5回開催)

・ 発達支援部会 (5回開催)

・ 専門部会委員長会議 (1回開催)

※3月に開催予定の親会及び専門部会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止し、資料を配布し意見を聴取しました。

○ 地域懇談会の開催 (生活支援部会)

・ 田野畑村 6月7日 アスビーイ楽習センター
参加者32名

・ 山田町 7月8日 山田南小学校 参加者53名

・ 岩泉町 10月3日 岩泉町民会館 参加者47名

・ 宮古市 12月6日 松山荘 参加者49名

○ セミナー・研修会等の開催

◇ そだちの相談会 (発達支援部会)

・ 6月22日 はあとふるセンターみやこ
個別相談4ケース

・ 11月30日 はあとふるセンターみやこ
個別相談4ケース

◇ 発達障がい学習会 (発達支援部会)

・ 第1回 7月13日 休暇村陸中宮古
参加者 第1部38名 第2部58名

・ 第2回 1月18日 イーストピアみやこ
参加者 第1部35名 第2部39名

◇ 発達支援セミナー (発達支援部会)

・ 8月31日 イーストピアみやこ
参加者 第1部47名 第2部83名

◇ スキルアップセミナー (生活支援部会)

・ 11月1日 宮古地区合同庁舎
参加者43名

◇ 地域生活支援セミナー (精神保健部会)

・ 12月1日 イーストピアみやこ
参加者90名

◇ 権利擁護セミナー (権利擁護部会)

・ 12月18日 イーストピアみやこ
参加者94名

■ 岩手県地域生活支援広域調整会議等事業の実施 (岩手県からの受託事業)

○ 地域委員会 (5回開催)

○ 精神科病院等からの地域移行者5名

○ 宮古圏域障がい者グループホーム支援者研修会

・ 11月6日 フラットピアみやこ 参加者25名

【Ⅱ】自主事業等の関係

■高次脳機能障がい者支援事業

高次脳機能障がい者に対する支援体制の整備を図るため、相談や支援に関わる関係機関による連絡会を開催した。家族教室では、音楽療法やパステルアート体験等を通して親睦を深めた。

○連絡会の開催（1回開催） 参加者20名

○家族教室の開催（3回開催） 参加者45名

■サービス等利用計画の作成業務

○契約件数645件 ○計画作成件数499件

○モニタリング回数1,609回

■障害支援区分認定調査の実施（県内各市町村からの受託事業）

○宮古圏域101件 ○宮古圏域外2件

受託事業

ピックアップ!

令和元年度の各部会の取り組みについて

令和元年度 スキルアップセミナー実施報告（生活支援部会主催）

今年度は「アングーマネジメント」をテーマに、岩手県障害者職業センターの職業カウンセラー鈴木和典氏を講師に迎え、「怒り」の起こるメカニズムや背景



要因等を学んで、自分自身の傾向を認識して参加者同士で共有し合う事を通して、自身の感情コントロールを意識するほか、怒りを向けられた際に相手の感情を推し量りながら向き合っていくためのヒントが得られた内容でした。支援者の中でも日々向き合っている施設・事業所職員の方々からの関心が非常に高く、「もっと深く勉強したい」等ご好評を頂きました。

（担当：阿部一徳）

令和元年度 宮古圏域権利擁護セミナー実施報告（権利擁護部会主催）

宮古圏域権利擁護セミナーは、「家族で考える成年後見制度」～不安が、安心に変わった実践事例～と題し、第1部は過去2回に渡って実演した寸劇をまとめたものを活用した上で弁護士による解説を行い、また第2部では実践事例報告とミニディスカッションを実施しました。94名の方々にご参加いただき、「身近に感じることができました」「もっと不特定多数の人たちに聞いてもらいたい」等、たくさんのご意見を頂くことができました。今後引き続き権利擁護に関する制度や法律を身近に感じられるように、広く伝えていきたいと思えます。（担当：佐々木）



令和元年度 地域生活支援セミナー実施報告（精神保健部会）

「僕のこころを病名で呼ばないで」～もう一度こころと向き合おう～と題し、慈圭病院精神医学研究所所長・川崎医科大学名誉教授 青木省三先生を講師に迎え講

演していただきました。数々の事例を通してご自身が接する中で得た教訓から個人の病気（症状）に偏らず、生い立ちや人間関係の幅広い視点を持つこと、現実を見据え、どう支えていけばいいか、支援する側にとつてありのままの相手を見ていくことが重要であることに気づかされた内容でした。

（担当：澤田）



令和元年度 宮古圏域発達支援セミナー実施報告（発達支援部会）

発達支援セミナーは、「発達障がいのある子と家族の支援～問題解決のために支援者と家族が知っておきたいこと～」と題し、立正大学心理学部名誉教授・中田洋二郎氏を講師に迎え、事例検討と講演の2部構成で開催しました。事例検討47名、講演83名の多職種にわたる方々にご参加頂きました。事例や個人ワークを盛り込んだ講義は、多面的な視点と細かな気づきのある支援について、学びを深める場となりました。今後、発達障がいに関わる知識の向上・理解促進を図り、より身近な地元で専門的な学びを触れることができるセミナーを開催していききたいと思えます。

（担当：巖石）



【レインボーネット 令和元年度 決算報告】

●活動計算書

収益の部		(単位：円)	費用の部		(単位：円)
科 目	金額 (円)		科 目	金額 (円)	
経常収益	受取会費	238,000	経常費用	事業費	72,830,371
	受取寄附金	0		人件費	29,903,036
	受取助成金	10,000		その他経費	42,927,335
	事業収益	90,294,276		管理費	6,050,459
	宮古地区地域生活支援事業等	57,500,000		人件費	2,747,389
	相談支援事業	32,181,800		その他経費	3,303,070
	認定調査事業	459,699		減価償却費	0
	地域生活支援広域調整会議等事業	152,777		経常費用計②	78,880,830
	その他収益	53,284	当期経常増減額 ①-②=③	11,714,730	
	受取利息	154	固定資産除却損 ④	2	
	雑収益	53,130	税引前当期正味財産増減額 ③-④=⑤	11,714,728	
	経常収益計①	90,595,560	法人税、住民税及び事業税 ⑥	3,239,400	
			当期正味財産増減額 ⑤-⑥=⑦	8,475,328	
		前期繰越正味財産額 ⑧	14,967,441		
		次期繰越正味財産額 ⑦+⑧	23,442,769		

●貸借対照表

(単位：円)

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	29,092,588	流動負債	5,649,822
現金預金	21,204,483	未払金	2,399,225
未収金	7,536,953	預り金	11,197
前払費用	326,889	未払法人税等	3,239,400
立替金	24,263	固定負債	5,257,732
固定資産	5,257,735	負債の部合計	10,907,554
什器備品	3	【正味財産の部】	
退職給付引当資産	5,257,732	前期繰越正味財産額	14,967,441
		当期正味財産増減額	8,475,328
		正味財産合計	23,442,769
資産の部合計	34,350,323	負債及び正味財産合計	34,350,323

新任職員紹介 よろしくお願ひします!



瀬浪 仁志

事情により一昨年度でレインボーネットを離れましたが、この度、また相談員として勤務することになりました。その間、要介護認定調査を基本にケアマネジャーの業務を行っていましたが、制度だけでは解決できないような課題、在宅生活を支える為の様々な社会資源の不足を感じる機会は多く、それは、当法人で相談業務に従事していた時にも同様でした。社会の変化に伴う困難な課題は、今後も増えていくことと思いますが、それらに向き合っていけるよう、あらためて、皆様のお力添えをお願い致します。



斉藤 歩

あっとほうむLifeみやこからレインボーネットに来て、あっという間に2ヶ月が経ちました。まだまだ慣れないことばかりで、ウロウロする日々ですが、笑顔と元気で頑張りたいと思います。食べることに寝ることが大好きです。美味しいごはんがあったかい布団が幸せなひとときです。関係機関の皆様のご助言とご協力を頂きながら、一生懸命頑張っていきたいと思います。世の中大変な時ですが、皆さん共に健康第一で乗り越えていきたいと思ひます！どうぞよろしくお願ひ致します。

「福祉の現場から」

Report1

令和元年度 第2回宮古圏域発達障がい学習会

【令

和2年1月18日(土)、「令和元年度 第2回発達障がい学習会」を開催しました。講師に、前職・社会福祉法人はるにれの里 札幌市自閉症自立支援センターゆい所長(現職・国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部 発達障害情報・支援センター 発達障害支援推進官) 加藤潔氏をお迎えしました。学習会は、「施設専門家になるメソッド(行動障がいがある方の支援を考える)」



をテーマに、【第一部：事例検討】、【第二部：講演】の構成にて実施しました。当日は、宮古圏域に限らず、県内からさまざまな職種の方々がご参加くださいました。アンケートでは、多くの方々に、とても参考になったとの感想を頂いております。

【第一部】は、事務局が提示した複数の事例を、小グループで検討し、加藤氏から助言・解説を頂きました。行動障がい



の特性がある方の支援において、支援者が対応に苦慮している事柄を問題のままにせず、対象になる方にとって意味のある充実した時間を提供するアイデアを、学びの機会となりました。

【第二部】の講演は、ユーモアに富み、明瞭簡潔、尚且つ会場の皆さんを惹き込む、加藤氏のお話を聞くことができた非常に貴重な時間でした。この学習会は、日々奮闘されているご家族・支援者の皆さんにとって、学びを深めるだけでなく、温かなエールとなる数々のお言葉を加藤氏から受け取ることが出来た機会になったのではないのでしょうか。たとえ、ひとつの支援が連続19回うまくいかないと感じて、20回目に成功すれば良いではないか!という姿勢に【20分の1の意地】等々、記事に載せきれない支援者が救われるお話に触れることが出来ました。対応に苦慮し、時には心が折れてしまいそうになる現場であっても、誠実な支援を諦めず向き合つことの大切さを、会場の皆さんと共有できました。

今後とも、発達支援部会は、当事者・ご家族・支援者の皆さんにとって、有意義な学習に触れる機会の提供に努めてまいりたいと思います。

(担当: 梶原)



Report!

Report2

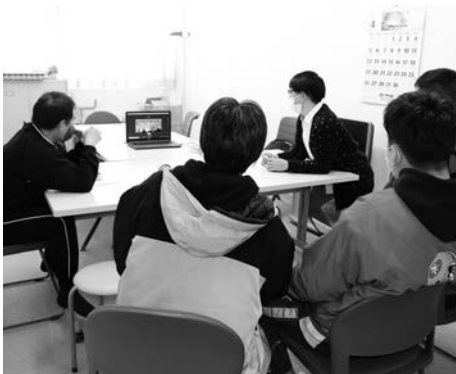
テレビ電話を

活用しての相談支援

新

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受託を受けている市町村と協議し、ご本人やご家族への接近を控え、個別支援会議等も自粛することになりました。電話やメールでの連絡調整が中心となり、サービス等利用計画やモニタリングについても同様の手続きで進めています。感染拡大防止の大切な取り組みですので、相談者の皆様にはご不便をおかけしますがご理解のほどよろしくお願い致します。対面式での相談支援が制限

されるなか Skype(テレビ電話)を活用した相談支援をはじめました。写真は、未来の風せいわ病院の医療スタッフとの会議の様子です。ささやかな工夫ですが、オンラインで相手の表情をみながら相談や会議を実施できます。相手側にもSkype環境が必要になります。遠隔でも実施できるといふメリットにも気づかれました。面積が広く過疎地域が点在する宮古圏域では有効なツールになるかもしれません。



Report3

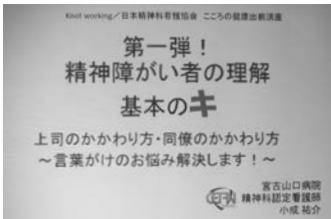
ネットワーキングの

取り組み

宮

古地区チャレンジ就業・生活支援センターで取り組んでいます「ネットワーキング」について紹介いたします。経緯として、平成28年度より障害者雇用促進法一部改正に伴い、平成30年度には法定雇用率が引き上げとなりました。このことを受け、地域移行支援に新たな活動が必要であるという考えに賛同した方々とネットワーキングを結成しました。この目的の一つとして企業を対象とした勉強会を企画し、精神障がい者の視点から、企業・当事者の悩みを本音で語り

合い、時には企業で取り組んでいる好事例の紹介をするといった内容で「職場で障がい者を理解する学習・相談会」を開催してきました。この活動も今年で6年目を迎え、労働・医療・教育といった様々な機関との横のつながりが出来たことは大きな成果だと思っています。これからも地域共生社会を目指し、皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。(宮古地区チャレンジ就業・生活支援センター 小林)



ネットワーキング：人々の結び目「knot」をつくりながら参加者の役割が刻々と自在に変化してゆく、しなやかな協力の形態 (ユーリア・エンゲストローム)

こんにちは、「地域活動支援センターみやこ」です!



「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対象に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社会生活技能訓練)・ピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

「地活みやこ」の活動をわいわい!

安心して地域生活を送るためのお手伝い...
多様な活動を企画し、皆さまをお待ちしております!

新型コロナウイルス感染症の社会情勢により、「地活みやこ」におきましても計画通りの活動ができない状況です。4～5月は衛生管理に配慮しつつ、

座談会的な活動のみを実施しましたが、状況により、やむを得ず全面中止とした期間もあります。また、今年度の「宮古圏域障がい者スポーツ交流会」は、残念ながら中止となりました。

一日も早く、元の活動を普通に実施できる日常に戻りたいものです。

今年度の活動計画を(一部紹介)

◆「くいの学習会」

話し方やコミュニケーション、薬と体調管理、食と健康など、暮らしに役立つ学習の機会を提供します

◆「表現活動」

木工作品、絵手紙のほか、お招きする専門講師の指導で表現の幅を広げます

◆「いやしの部屋」

ハンドマッサージ、読み聞かせ、カラセラピーなど、癒しの時間を提供します

◆「トンボの会」レクリエーション交流会

トレーナーを講師にお招きし、楽しく体を動かす機会を増やします

◇いずれも実施時期は未定ですが、「地活だより」にてご案内していきます。

☆地活だより

毎月20日頃に発行し、活動予定をご案内するほか、生活に役立つ情報提供に努めています。(窓口、郵送、ホームページ)5月号では、簡単なストレッチを紹介したところです。

☆訪問・電話で様子伺い

外出の機会が減った方々に対して自宅訪問や電話発信し、生活の様子や困りごとの有無をお尋ねしています。また、自宅で取り組める塗絵等の材料提供も行い、皆さんからは「ありがた」と喜んでいただいております。



【地活だより5月号】

十分な活動提供はできませんが、気持ちは繋がっていますよ!



【只今、電話対応中!】

スタッフの声!

今年度は相談支援専門員の山本が3年ぶりに地活担当となり、統括を務めます。また、阿部、松澤、武藤に、4月からレインボーネット所属となった齊藤を加えた5名が主体となり、活動を運営していくことになります。皆さまのご意見を参考にしながら、「明るく楽しい地活」となるよう取り組んでまいりますので、ご指導ご協力をお願いいたします。

インタビュー



写真・話し手
相談支援専門員 山本美恵子



Q: 3年ぶりに地活担当となった抱負を聞かせてください。
A: 明るく楽しい地活をメンバーに、利用者の皆さん全員の、居心地の良い安心できる居場所を提供していきたいと思えます。

Q: 「地活みやこ」って、どんな所? 簡単に紹介してください!
A: 活動を通して人と人との繋がりを紡ぎ、社会参加や自立に向けての準備を進め、ステップアップしながら成長していく所です。

活動に興味がある障がい当事者の方なら、誰でも気軽に参加できる...そんな場所です。

令和2年度 事業計画・予算

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット（レインボーネット）では、障がいをお持ちの方の豊かな暮らしの実現に向けて、今年度も各種事業に取り組みます。

〔重点項目〕

- ◎計画相談支援等を推進するため、基幹相談支援センターとして地域の相談支援体制の連携強化に努めます。
- ◎障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの趣旨を踏まえ、障がい者の権利擁護の推進、普及啓発に努めます。
- ◎入所施設や精神科病院からの地域移行を推進するとともに、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に努めます。
- ◎地域活動支援センター事業の充実を図るため、市町村や当事者のニーズに対応した取り組みの推進に努めます。
- ◎障がい者の生活を地域全体で支える体制を構築するため、自立支援協議会と連携し地域生活支援拠点整備の推進に努めます。

Ⅰ 法人運営の関係

(1) 法人の公正中立で適正な運営に取り組みます。

- ・総会（1回開催）
- ・理事会（2回開催）
- ・運営委員会（2回開催）
- ・会計監査（4回実施）

(2) 会員等に対する情報発信に取り組みます。

- ・ホームページを活用した情報提供
- ・機関紙「Rainbow Net」の発行（第30号、第31号）
- ・地活だより、各種イベントチラシの配布

Ⅱ 受託事業の関係

(1) 宮古圏域4市町村から委託された宮古地区地域生活支援事業等を適切に実施します。

- ・基幹相談支援センター事業（相談支援事業、基幹相談支援センター等機能強化事業、住宅入居等支援事業、障がい者虐待防止センター事業）
- ・地域活動支援センター事業（基礎的事業、機能強化事業）

(2) 宮古圏域障がい者自立支援協議会の適正な運営に取り組みます。

- ・圏域協議会、実務担当者会議、生活支援部会、権利擁護部会、精神保健部会、発達支援部会の定例会の開催

※各部会において、研修会やセミナー及び地域懇談会を開催

します。

(3) 岩手県から委託された岩手県地域生活支援広域調整会議等事業を適切に実施します。

- ・地域委員会の開催
- ・勉強会の開催

Ⅲ 自主事業等の関係

(1) 高次脳機能障がい者支援事業・連絡会、研修会等を開催します。

(2) 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援、障害支援区分認定調査に取り組みます。

(3) 障がい当事者・家族・関係機関・地域住民の親睦を深める事業はあとのフェスタ2020の開催

(4) 障がい者の社会参加の促進・地域福祉の充実発展に寄与する事業

- ・障がい当事者の創作活動の作品展示会等の開催
- ・出前授業等の実施（圏域内の小・中・高校生等を対象に、障がい理解をテーマに市町村と連携し実施）

(5) 各種ネットワークの拡充と連携強化に努めます。

- ・障がい当事者団体等ネットワーク、障がい福祉サービスマスターズネットワークとの連携、宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議等を開催します。

〔令和2年度・活動予算書〕

収益の部

(単位:千円)

科目	金額
受取会費	240
受取寄附金	1
受取助成金等	0
事業収益	86,050
宮古地区地域生活支援事業等	57,500
相談支援事業	28,000
認定調査事業	400
地域生活支援広域調整会議等事業	150
その他収益	101
経常収益計 ①	86,392

費用の部

(単位:千円)

科目	金額
事業費	76,394
人件費	38,259
その他経費	38,135
管理費	7,698
人件費	3,772
その他経費	3,926
減価償却費	0
経常費用計 ②	84,092
当期正味財産増減額 ③=①-②	2,300
前期繰越正味財産額 ④	23,442
次期繰越正味財産額 ③+④	25,742

なんでも KEIJIBAN

令和2年度「地域懇談会」

宮古圏域の各市町村を会場に、地域懇談会を開催いたします。

●日程・会場

◇田野畑村

9月16日(水) 田野畑小学校

◇宮古市

9月25日(金) 花輪小学校

◇岩泉町

10月6日(火) 岩泉町民会館

(権利擁護部会 権利擁護セミナーとの共催)

◇山田町

12月18日(金) 船越小学校

※時間は事務局までお問い合わせください。

●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

権利擁護セミナー(出張)

●日程：10月6日(火)

●会場：岩泉町民会館



寸劇の様

●内容：寸劇DVD上映

(生活支援部会 地域懇談会との共催)

●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

宮古圏域地域生活支援セミナー・チャレンジドフォーラム

●日時：10月25日(日) 10～15時

●会場：イーストピアみやこ 多目的ホール

●内容：ひきこもりに向き合うヒント ～就労と生活を支援する～(仮題)

《第一部》実践事例報告(グループワーク)

《第二部》講演(生活支援部会チャレンジドフォーラムとの共催)



講師

筑波大学
齋藤 環 氏

●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

はあとふるフェスタ

●日程：11月28日(土)

●会場：イーストピアみやこ

●内容：作品展示・各種体験

宮古圏域発達支援セミナー

●日程：令和3年1月24日(日)

●会場：山田町中央公民館 小ホール

●内容：講演(内容未定)



講師

信州大学医学部付属病院
子どもこころ診療部
部長
本田 秀夫 氏

●対象者：関係者、当事者、家族、興味がある方

お知らせ

記載しております各種セミナーは、新型コロナウイルスの感染の拡大を防ぐため延期もしくは中止が考えられます。あらかじめご了承くださいますようお願い致します。

●問い合わせ先 レインボーネット事務局

TEL 0193-64-7878

FAX 0193-77-3921

編集後記

機関紙30号を無事発行することができました。今号の企画がコロナの影響で取材ができず断念しました。みなさんにお届けしたい記事だっただけに残念です。次号で掲載できるように準備していきたいと思っております。状況が落ち着くことを願っております。
【高屋敷】

パンデミックが現実となつてしまつた数ヶ月：世界状況から、自身を取り囲む環境も一変してしまいました。「新しい生活様式」がスタンダードとなつてしまふのか？何の制約もなく外出し、友人と会い、食事をする。そんな毎日が戻ってきますように：お願いします。アマビエさま…
【大内】

自粛自粛の毎日でしたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。色んなイベントが中止や延期になり：私は楽しみにしていたアーティストのライブも延期になり、ちよつと寂しく感じています。早く日常に戻れる日を願つて、小さな楽しみを見つけてながらのんびり行きましよう。
【上田】

発行

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)

岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号

はあとふるセンターみやこ1F

TEL 0193-64-7878

FAX 0193-77-3921

E-mail info@miyako-rainbow.com

URL http://www.miyako-rainbow.com/

◆発行責任者 会長 刈屋裕之
◆企画・編集 レインボーネット事務局

かい いん ぼ しゅう
会員募集

かいいん しゅるい ねんかひ
会員の種類と年会費について

NPO法人
レインボーネットの活動を
応援してくださる方を
募集しています。

個人

正会員 1,000円

賛助会員 500円

団体

正会員 5,000円

賛助会員 1,000円